

2. NB-18 (日本曹達申請) ; 継続

本剤は、内成エチレンの前駆物質でアミノ酸の一種であるD・Lメチオニンであり、リンゴ・ナシ・イチジクの果実の成熟促進効果が知られている。エチレンは、植物に対して広い作用性があり、多方面での利用が考えられる。そのため、生育調節剤として利用する基礎資料を得る

試験が申請された。

試験は、農業技術研究所生理第5研究室で行なわれ、メチオニン以外の内生エチレンの前駆物質についてエチレン生成能の検討、メチオニンの処理方法の検討、およびメチオニンによる耐病性の増大に関する検討を行なった。これらの結果は、新しい技術の実用化の基礎資料として役立つものと判定された。

昭和47年度水稻作関係 除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和47年度水稻用除草剤の試験成績検討会が、昭和47年12月6日～8日の3日間、東京農林年會館において開催されたので、ここにその結果の概要を紹介する。

1. 供試除草剤の動向

本年度供試された薬剤は次のとおりである。移植栽培本田用54薬剤、稚苗移植用34薬剤、苗代用2薬剤、湛水直播用10薬剤、乾田直播用11薬剤、畦畔用2薬剤、体耕田用5薬剤、耕起前用3薬剤、一年生・多年生雑草対象用23薬剤、合計144薬剤で、供試薬剤数でみるかぎりでは前年度に比べ約22%の減少であった。

さらに供試薬剤の傾向をみると、前年につづき移植栽培本田対象の薬剤が減少(前年に比べ約42%)した。稚苗移植対象(直播対象)薬剤は、前年とはほぼ同様な傾向であった。また、当年度は新たに全国的に問題となっている多年生雑草(一年生雑草を含む)対象の除草剤が供

試されウリカワ、ホタルイ、ミズガヤツリ、マツバイ、他一年生雑草に対して全国的に好成績を得た。その中の主なものを挙げると、TH-63、B-3015・S・BAS、X-52・BAS、MCP・BAS、2,4-PA・BASなどである。土壌混和処理剤は供試薬剤は比較的少ないが、効力の持続性・安定化の点でさらに確認された。

なお、本年度供試薬剤の成分一覧は第1表のとおりである。

2. 試験結果の概要

本年度供試薬剤の中で実用化に移されたものは、移植本田用64薬剤(多年生対象18薬剤を含む)、稚苗移植用30薬剤、苗代用2薬剤、湛水直播用8薬剤、乾田直播用7薬剤、畦畔用2薬剤、合計113薬剤で、供試薬剤中78パーセントが実用化の判定を得た。

適用性試験の判定結果は、第2表のとおりである。また、実用化の認められた除草剤の使用基準は、第3表のとおりである。供試薬剤中78パーセントが実用化されたことは、試験年次

のつみかさねとともに、各依頼者の努力が稔ったものと推察される。

＜第1表＞ 昭和47年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I 移植栽培本田

I-(1) 土壌混和处理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G-315B	乳 剤	5-ターシャリブチル-3-(2,4,ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル) 1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン (G-315) 10% 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 15%	日 産 化 学
2	G-315	乳 剤	5-ターシャリブチル-3-(2,4,ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 12%	ロンスター研究会 〔日産化学 北興化学〕
3	X-52	乳 剤	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル 12%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
4	X-52	水和剤	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル 70%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
5	X-52	粒 剤	2,4-ジクロルフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル 7%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
6	X-52化成肥料	粒 剤	X-52+化成肥料 %	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
7	XK-724	粒 剤	- X-52 6% - N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア 2%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
8	NK-049S	粒 剤	3,3'-ジメチル-4-メトキシベンゾフェノン 8% - N-(2-メルカプトエチル)ベンゼンスルホンアミドS-(0,0-ジイソプロピルホスホロジチオエート) 3%	日 本 化 薬
9	B-3015	乳 剤	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメート 50%	クミアイ化学

I-(2) 移植前土壌処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	MO-18	粒 剤	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 18%	三 井 東 庄
2	M T S-1	粒 剤	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル (CNP) 9% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)-ウレア (SK-23) 7%	三 井 東 庄 昭 和 電 工
3	S K P	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルアミノ)S-トリアジン(プロメトリン) 7% 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)-ウレア (SK-23) 0.7%	日 本 化 薬 昭 和 電 工

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
4	B - 3 0 1 5	粒 剤	・ S - (4 - クロロベンジル) N , N - ジエチルチオールカーバメート 1 0 %	クミアイ 化学
5	K H - 1 8 3 A	粒 剤	・ 2 - アミノ - 3 - クロロナフトキノン (A C N) 4.5 % ・ 2 - クロロ - 2' , 6' - ジエチル - N - (ブトキシメチル) - アセトアニリド (ブタクロール) 2.5 %	兼 商
6	ブ タ ク ロ ール	粒 剤	・ 2 - クロロ - 2' , 6' - ジエチル - N - (ブトキシメチル) - アセトアニリド 2.5 %	三菱サンモント
7	X K - 7 2 4	粒 剤	・ 2,4 - ジクロロフェニル - 3' - メトキシ - 4' - ニトロフェニルエーテル 6 % ・ N - (3 - クロロ - 4 - ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル) - N' , N' - ジメチルウレア 2 %	X - 5 2 協議会 〔 石 原 産 業 日 本 農 薬 〕
8	N K - 0 4 9 S	粒 剤	・ 3 , 3' - ジメチル - 4 - メトキシベンゾフェノン 8 % ・ 4,6 - ビスエチルアミノ - 2 - メチルチオ - 1,3,5 - トリアジン 3 %	日 本 化 薬

I - (3) 移植後土壌処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	T H - 6 2 M	粒 剤	・ 2 - (2 - クロロベンジル) - 5 - プロピル - 1,3,4 - オキサジアゾール (ベノキサゾール) 5 % ・ 2,4,6 - トリクロロフェニル - 4' - ニトロフェニルエーテル (C N P) 5 %	武 田 薬 品
2	K W - 1 0	粒 剤	・ フラン系 4.5 % ・ N I P 3.0 %	大日本除虫菊
3	B M - 3 0 1 5	粒 剤	・ S - (4 - クロロベンジル) N , N - ジエチルチオールカーバメート (B - 3 0 1 5) 7 % ・ 2,4,6 - トリクロロ - 4' - ニトロジフェニルエーテル (C N P) 6 %	クミアイ 化学
4	モ リ ネ ー ト N	粒 剤	・ S - エチル - ヘキサヒドロ - 1 H - アゼピン - 1 - カーボチオエート (モリネット) 6 % ・ 2,4,6 - トリクロロ - 4' - ニトロジフェニルエーテル 6 %	モリネット普及会 〔 ストッファー・ケミカル、トーマン、三笠化学、八州化学 〕
5	A C N	粒 剤	・ 2 - アミノ - 3 - クロロ - 1,4 - ナフトキノン 9 %	兼 商
6	K H - 1 5 9	粒 剤	・ 2 - アミノ - 3 - クロロ - 1,4 - ナフトキノン (A C N) 5 % ・ 2,4 - ジクロロフェニル - 4' - ニトロフェニルエーテル (N I P) 5 % ・ 2 - メチル - 4 - クロロフェノキシ酢酸エチル (M C P B) 0.6 %	兼 商
7	ブ タ ク ロ ール	粒 剤	・ 2 - クロロ - 2' , 6' - ジエチル - N - (ブトキシメチル) アセトアニリド 5 %	三菱モンサント
8	S S T - 1	粒 剤	・ 2,4 - ジクロロフェニル - 4' - ニトロフェニルエーテル (N I P) 7 % ・ 1 - (2 - フェニル - 2 - プロピル) - 3 - (P - トリル) - ウレア (S K - 2 3) 7 %	東 京 有 機 昭 和 電 工 三 洋 貿 易
9	S S T - 5	粒 剤	・ 2,4 - ジクロロフェニル - 4' - ニトロフェニルエーテル (N I P) 7 % ・ 1 - (2 - フェニル - 2 - プロピル) - 3 - (P - トリル) ウレア (S K - 2 3) 5 %	東 京 有 機 昭 和 電 工 三 洋 貿 易
10	H Z - 1 4	粒 剤	・ フラン系化合物 6 %	エーメル・ジャパン

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
11	U - 6 7	粒 剤	・ 3,4,5-トリブプロモ-N, N, α -トリメチルピラゾール-1-アシドアミド 5 %	日本アップジン
12	X K - 7 2 1	粒 剤	・ 2,4-ジクロルフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7 % ・ アリルMCP 0.7 %	X-52協議会 〔石原産業〕 日本農薬
13	N H - 6 9 6 7 M	粒 剤	・ 2,4-ジクロルフェニルピロリジニル-カルボキシレート 5 % ・ MCPB 1 %	日本農薬
14	K H - 1 8 3 A	粒 剤	・ 2-アミノ-3-クロルナフトキノ 4.5 % ・ 2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)-アセトアニリド 2.5 %	兼 商
15	X - 5 2 B	粒 剤	・ 2,4-ジクロルフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 5 % ・ 2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 3 %	X-52協議会 〔石原産業〕 日本農薬

I-(4) 茎葉兼土壌処理剤

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	X-52・モリネート・AM	粒 剤	・ 2,4-ジクロルフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 6 % ・ S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート 8 % ・ アリルMCP 0.7 %	石 原 産 業
2	B-3015・K	粒 剤	・ S-(4-クロルベンジル)N, N'-ジエチルチオールカーバマイト 7 % ・ N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5 %	クミアイ 化学
3	T H - 6 2 D	粒 剤	・ 2-(2-クロルベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール(TH62) 5 % ・ 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(シメトリン) 1.0 %	武 田 薬 品
4	T H - 6 2 D - 2	粒 剤	・ 2-(2-クロルベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール(TH62) 9 % ・ 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(シメトリン) 2 %	武 田 薬 品
5	T H - 6 2 D・M-1	粒 剤	・ 2-(2-クロルベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール 7 % ・ 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-1,3,5-トリアジン 2 % ・ MCPB 1 %	武 田 薬 品
6	N C - 3 1 0	粒 剤	・ モリネート 6 % ・ ニトラリン(SD-11831) 2 % ・ NCP-Na1水化物 0.8 %	日本カーバイト
7	シメトリン・MCPB (1.5+1.0)	粒 剤	・ 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-5-トリアジン(シメトリン) 1.5 % ・ 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル(MCPB)1.0 %	日 本 化 薬
8	シメトリン・MCPB (2.5+1.0)	粒 剤	・ 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-5-トリアジン(シメトリン) 2.5 % ・ 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル(MCPB)1.0 %	日 本 化 薬

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
9	C G - 1 0 2 5.5	粒 剤	• N-(0,0-ジプロピル-ジチオホスホリルアセチル)-2-メチルピペリジン (CG7102) 4.4% • 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α, β-ジメチル-アミノ)-S-トリアジン (CG7103) 1.1%	日本チバガイギー
10	C G - 1 0 2 6.5	粒 剤	• N-(0,0-ジプロピル-ジチオホスホリルアセチル)-2-メチルピペリジン (CG7102) 5.2% • 2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α, β-ジメチル-アミノ)-S-トリアジン (CG7103) 1.3%	日本チバガイギー
11	モリネート S	粒 剤	• S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 6% • 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔ストッファ・ケミカル, トーメン, 三笠化学, 八洲化学〕
12	モリネート S・M	粒 剤	• S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 8% • 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 1.5% • 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.8%	モリネート普及会 〔ストッファ・ケミカル, トーメン, 三笠化学, 八洲化学〕
13	モリネート K	粒 剤	• S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート 6% • N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5%	モリネート普及会 〔ストッファ・ケミカル, トーメン, 三笠化学, 八洲化学〕
14	N H - 7 0 3	粒 剤	• S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート (B-3015) 1.0% • 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.7%	日本農薬

I-(5) 適用時期拡大

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	X - 5 2 B	粒 剤	• 2,4-ジクロルフェニル-3¹-メトキシ-4¹-ニトロフェニルエーテル 5% • 2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 3%	X-52協議会 〔石原産業, 日本農薬〕
2	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	• S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 7% • 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	クミアイ化学
3	モリネート S	粒 剤	• S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート (モリネート) 6% • 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔ストッファ・ケミカル, トーメン, 三笠化学, 八洲化学〕
4	K H - 1 3 8 A	粒 剤	• 2-アミノ-3-クロルナフトキノ (ACN) 4.5% • 2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)-アセトアニリド (ブタクロール) 2.5%	兼 商
5	N H - 6 9 6 7 S	粒 剤	• フェノピレート 5% • シメトリン 1.5%	日本農薬
6	K H - 1 5 9	粒 剤	• 2-アミノ-3-クロル-1,4-ナフトキノ 5% • 2,4-ジクロルフェニル-4¹-ニトロフェニルエーテル 5% • 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸エチル 0.6%	兼 商

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
7	N H - 7 0 3	粒 剤	• S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート (B-3015) 10% • 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル (MCPB) 0.7%	日 本 農 薬
8	X K - 7 2 1	粒 剤	• 2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7% • アリルMCP 0.7%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
9	シ メ ト リ ン	粒 剤	• 2-エチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 2.5%	日本チバガイギー

Ⅱ 稚苗移植栽培

Ⅱ-(1) 土壌混和处理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5 B	乳 剤	• 5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 10% • 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 15%	ロンスター研究会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
2	G - 3 1 5	水和剤	• 5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 90%	ロンスター研究会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
3	G - 3 1 5	乳 剤	• 5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 12%	ロンスター研究会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
4	B - 3 0 1 5	乳 剤	• S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 50%	クミアイ化学
5	X K - 7 2 4	粒 剤	• 2,4-ジクロル-3-メトキシ-4-ニトロジフェニルエーテル 6% • N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N',N'-ジメチルウレア 2%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕

Ⅱ-(2) 移植前後処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	M O - 1 8	粒 剤	• 2,4,6-トリクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 18%	三井東圧化学
2	M S T - 1	粒 剤	• 2,4,6-トリクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル (CNP) % • 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)-ウレア (SK-23) %	三井東圧化学 昭 和 電 工
3	X - 5 2	粒 剤	• 2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7.0%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
4	G - 3 1 5	粒 剤	• 5-ターシャリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 2%	ロンスター研究会 〔日産化学〕 〔北興化学〕
5	ブタクロール 2.5	粒 剤	• 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 2.5%	ブタール普及会 (三菱モンサント)

Ⅱ-(3) 移植後土壌処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	T H - 6 2 M	粒 剤	・ 2-(2-クロロベンジル)-5-プロピル-1,3,4-オキサジ アゾール 5% ・ 2,4,6-トリクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 5%	武 田 薬 品
2	S K - 2 3	粒 剤	・ 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)尿素 7%	昭 和 電 工
3	X - 5 2	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエーテル 7.0%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
4	H W - 2 1 0	粒 剤	・ 3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル 9% ・ 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレ ア 5%	保 土 谷 化 学
5	S S T - 1	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 7.0% ・ 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレ ア 7.0%	東京有機化学 昭 和 電 工 三 洋 貿 易
6	S S T - 5	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 7.0% ・ 1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレ ア 5.0%	東洋有機化学 昭 和 電 工 三 洋 貿 易
7	モリネート N	粒 剤	・ S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエ ート 6.0% ・ 2,4,6-トリクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル 6.0%	モリネート普及会 〔スタウファー・ ケミカル ト - メ ン 三 笠 化 学 八 洲 化 学〕

Ⅱ-(4) 茎葉兼土壌処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	T H - 6 2 D	粒 剤	・ 2-(2-クロロベンジルチオ)-5-プロピル-1,3,4-オキ サジアゾール 5.0% ・ 4,6-ビスエチルアミノ-2-メチルチオ-1,3,5-トリアジン 1.5%	武 田 薬 品
2	X - 5 2 B	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェニルエー テル 5.0% ・ 2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(プロキシメチル)アセト アニリド 3.0%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
3	N H - 7 0 3	粒 剤	・ ベンチオカブ 1.0% ・ MCPB 0.7%	日 本 農 薬
4	モリネート S	粒 剤	・ S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエ ート 6.0% ・ 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジ ン 1.5%	〔スタウファー・ ケミカル ト - メ ン 三 笠 化 学 八 洲 化 学 モリネート普及会〕
5	モリネート SM	粒 剤	・ S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエ ート 8.0% ・ 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジ ン 1.5% ・ 2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 0.8%	〔スタウファー・ ケミカル ト - メ ン 三 笠 化 学 八 洲 化 学 モリネート普及会〕

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
6	モリネートK	粒 剤	・S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート 6% ・N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5%	日本特殊農業 八 洲 化 学
7	B-3015K	粒 剤	・S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 7% ・N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5%	クミアイ化学
8	B-3015S	粒 剤	・S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメイト 7% ・2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)S-トリアジン 1.5%	クミアイ化学

Ⅱ-(5) 適用時期拡大

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	プロメトリン・ MCPB	粒 剤	・2-メチルチオ-4,6-ビス-イソプロピルアミノ-S-トリアジン 1.5% ・2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 1.0%	日 本 化 薬
2	シメトリン・MCPB 1.5+1.0	粒 剤	・2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン 1.5% ・2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 1.0%	日 本 化 薬
3	シメトリン・MCPB 2.5+1.0	粒 剤	・2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン 2.5% ・2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル 1.0%	日 本 化 薬
4	X-52B	粒 剤	・2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 5% ・2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 3.0%	X-52協議会 〔石原産業〕 〔日本農薬〕
5	トリフルラリン・ MCPAN	粒 剤	・トリフルラリン 1.3% ・MCPアニリド 1.3%	石 原 産 業
6	ブタクロールS	粒 剤	・2-クロロ-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド(ブタクロール) 4% ・2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノS-トリアジン(シメトリン) 1.5%	三菱モンサント
7	NH-6967S	粒 剤	・2,4-ジクロロフェニルピロリジニルカーボキシレート(NH-6967) 5% ・2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノS-トリアジン(シメトリン) 1.5%	日 本 農 薬
8	NH-703	粒 剤	・ベンチオカーブ 1.0% ・MCPB 0.7%	日 本 農 薬
9	モリネートS	粒 剤	・S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート(モリネート) 6% ・2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)S-トリアジン(シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔ストッファー・ケミカル〕 ト ー メ ン 三 笠 化 学 八 洲 化 学
10	B-3015S	粒 剤	・S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート(B-3015) 7% ・2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)S-トリアジン(シメトリン) 1.5%	クミアイ化学

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
11	N I P Q		2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 6% 2-メチル-4-クロロフェノキシベンジルトリエタノールアンモニウム 0.4%	三 洋 貿 易

Ⅲ 苗 代

Ⅲ-(1) 水 苗 代

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	粒 剤	S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 10%	クミアイ化学

Ⅲ-(2) 畑 苗 代

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	T O P E	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25%	三 洋 貿 易

Ⅳ 湛水直播

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	粒 剤	S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 10%	クミアイ化学
2	B - 3 0 1 5	乳 剤	S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 50%	クミアイ化学
3	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	- S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート(B-3015) 7% 2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン(シメトリン) 1.5%	クミアイ化学
4	BM - 3 0 1 5	粒 剤	- S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート(B-3015) 7% 2,4,6-トリクロル-4'-ニトロジフェニルエーテル(CNP) 6%	クミアイ化学
5	HW-40187C	乳 剤	3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエーテル(DMNP) 20% - N, N-エチル-S-パラクロルベンジルチオールカーバメート(B-3015) 20%	保土谷化学
6	モ リ ネ ー ト	粒 剤	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート 8%	モリネート普及会 〔ストップア-・ケミカル トーメン 三笠化学 八洲化学〕
7	G - 3 1 5	乳 剤	5-ターシャリブチル-3-(2,4ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾリン-2-オン 12%	ロンスター研究会 〔日産化学 日興化学〕
8	HW - 3 8 C	粒 剤	- S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 17% - DCPA 7%	保土谷化学
9	モ リ ネ ー ト K	粒 剤	- S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート 6% - N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5%	日本特殊農薬 八洲化学
10	BAS-3510	水和剤	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 50%	住友化学

V 乾田直播

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	リニュロン (ロロック)	粒 剤	・ 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチルウレア 1.5%	丸 和 物 産
2	B-3015	乳 剤	・ S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルカーバメート 50%	クミアイ化学
3	B-3015・ プロメトリン	乳 剤	・ S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルカーバメート (B-3015) 50% ・ 2-メチルチオ-4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン (プロメトリン) 5%	クミアイ化学
4	B-3015・ +DCPA	乳 剤	・ S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルカーバメート (B-3015) 50% ・ DCPA 5%	クミアイ化学
5	X-52	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
6	X-52	水和剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 70%	X-52協議会 〔石原産業 日本農薬〕
7	畑作用ニップ	粒 剤	・ 2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 5%	三 洋 貿 易
8	モリネートS	粒 剤	・ S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート (モリネート) 5% ・ 2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン (シメトリン) 1.5%	モリネート普及会 〔ストッファー・ ケミカル トーメン 三笠化学 八洲化学〕
9	G-315	水和剤	・ 5-ターシャリブチル-3-1,2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサゾアゾリン-2-オン 50%	ロンスター研究会 〔日産化学 北興化学〕
10	トリフルラリン	乳 剤	・ α, α, α -トリフルオル-2,6-ジニトロ-N, N-ジプロピル-パラトルイジン 44.5%	塩 野 義 製 薬
11	モリネートK	粒 剤	・ S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオエート 6% ・ N-(3-クロロ-4-ジフルオロクロルメチルメルカプトフェニル)-N', N'-ジメチルウレア 2.5%	日本特殊農薬 八 洲 化 学

VI 畦畔雑草

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	DPA・DCMU・ MCP	粒 剤	・ DPA 10% ・ DCMU 3% ・ MCP 3%	石 原 産 業
2	YH-471H	水和剤	・ DPA 40% ・ DCMU 25% ・ 2,4-PA 20%	山 本 農 薬

VII 休 耕 田

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	デゾレートA	粉状水溶剤	・ 塩素酸ナトリウム 60%	日本カーリット
2	DPA・DCMU・ MCP	粒 剤	・ DPA 10% ・ DCMU 3% ・ MCP 3%	石 原 産 業

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
3	D C B N	粒 剤	・DCBN 3%	日本カーバイト
4	Y H - 4 7 1 H	水和剤	・DPA 40% ・DCMU 25% ・2,4-PA 20%	山 本 農 薬
5	M O N - 3 9	乳 剤	・N-(フォスフォノメチル)グリシン・イソプロピルアミン塩 41.5%	日本モンサント

Ⅷ 耕起前処理

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	C B - 7 1 2	乳 剤	— 35%	石 原 産 業
2	M O N - 3 9	乳 剤	・N-(フォスフォノメチル)グリシン・イソプロピルアミン塩 41.5%	日本モンサント
3	S L T - 7 1 1	水和剤	・未公開 77.1+5.9+1.2%	石 原 産 業

Ⅸ 一年生・多年生雑草対象

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	HE-314・BAS	粒 剤	・メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 10% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 10%	住 友 化 学
2	HE-314・SK-23・BAS-3510	粒 剤	・メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 6% ・1-(2-フェニル-2-プロピル)-3-(P-トリル)ウレア 6% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 5%	三 洋 貿 易
3	T H - 6 3	粒 剤	・N-(0,0-ジプロピルジチオホスホリルアセチル)-2-メチルピペリジン 4.4% ・2-メチルチオ-4-エチルアミノ-6-(α , β -ジメチルアミノ)-S-トリアジン 1.1% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 10%	武 田 薬 品
4	B-3015・BAS	粒 剤	・S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 10% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 10%	クミアイ化学
5	B-3015S・BAS	粒 剤	・S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオールカーバメート 7% ・2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 1.5% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 7%	クミアイ化学
6	モリネート・BAS	粒 剤	・S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート 10% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 10%	日 本 農 薬
7	X-52・BAS	粒 剤	・2,4-ジクロルフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7% ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾ-チアジアジノン-(4)-2,2-ジオキサイド 10%	X-52協議会 〔 石原産業 日本農薬 〕

№	薬 剤 名	剤型	有効成分および成分含有率	委託会社
8	X K - 7 2 2	粒 剤	・2,4-ジクロロフェニル-3-メトキシ-4-ニトロフェニルエーテル 7 % ・アリルMCP 0.5 % ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-ジオキサイド 5 %	石 原 産 業
9	M C P ・ B A S	粒 剤 水和剤	・2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸ナトリウム (粒) 1.5 % (水和) ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-ジオキサイド (粒) 10 % (水和) 50 %	日 産 化 学
10	2,4-PA・ B A S	粒 剤 水和剤	・2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (粒) 1.5 % (水和) ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-ジオキサイド (粒) 10 % (水和) 50 %	日 産 化 学
11	B A S - 3 5 1 0	粒 剤 水和剤	・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-ジオキサイド (粒) 10 % (水和) 50 %	パ ッ デ ィ シ ュ
12	K H - 1 5 9	粒 剤	・2-アミノ-3-クロル-1,4-ナフトキノ 5 % ・アリルMCP 5 % ・MCPB 0.6 %	兼 商
13	ブ タ ク ロ ール	粒 剤	・2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド 2.5 %	ブ タ ール 普 及 会
14	S K - 2 3	粒 剤	・1-(2-フェニル)-2-プロピル-3-(P-トリル)ウレア 7 %	昭 和 電 工
15	モ リ ネ ート S	粒 剤	・S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート 6 % ・2-メチルチオ-4,6-ビス-(エチルアミノ)-S-トリアジン 1.5 %	モリネート普及会
16	C N P ・ B A S	粒 剤	・2,4,6-トリクロル-4-ニトロジフェニルエーテル 9 % ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-ジオキサイド 10 %	三 井 東 庄
17	K H - 1 8 3 A	粒 剤	・2-アミノ-3-クロルナフトキノ 4.5 % ・2-クロル-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)-アセトアニリド 2.5 %	兼 商
18	S S T - 5	粒 剤	・2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 7 % ・1-(2-フェニル)-2-プロピル-3-(P-トリル)ウレア 5 %	東 京 有 機 昭 和 電 工 三 洋 貿 易
19	T H - 6 4	粒 剤	・2-(2-クロロベンジル)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール 5 % ・2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリアジン 1.5 % ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-アセトアニリド 7 %	武 田 薬 品
20	T H - 6 5	粒 剤	・2-(2-クロロベンジル)-5-プロピル-1,3,4-オキサジアゾール 5 % ・2,4,6-トリクロロフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 5 % ・3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジジン-4-2,2-アセトアニリド 7 %	武 田 薬 品

＜第2表＞ 昭和47年度水稻作関係除草剤実用化判定表

		実	実および継	継 続	継続 ?	中 止
I 移 植 栽 培 本 田	I-(1) 土 壤 混 和 処 理		G-315・B 乳 G-315 乳 X-52 乳 X-52 水和 XK-724 粒 B-3015 乳	X-52化成 粒 NK-049S 粒		
	I-(2) 移 植 前 後 土 壤 処 理		MO-18 粒 MTS-1 粒 B-3015 粒 KH-183A 粒 XK-724 粒 NK-049S 粒 ブタクロール 粒	SKP 粒		
	I-(3) 移 植 後 土 壤 処 理	BM-3015 粒	TH-62M 粒 KW-10 粒 モリネートN 粒 ACN 粒 KH-159 粒 ブタクロール(5%) 粒 SST-1 粒 SST-5 粒 XK-721 粒 NH-6967M 粒 KH-183A 粒 X-52・B 粒	U-67 粒 HZ-14 粒		
	I-(4) 茎 葉 兼 土 壤 処 理		X-52・モリネート・AM 粒 B-3015・K 粒 TH-62D 粒 シメトリン・MCPB(2.5%)粒 シメトリン・MCPB(3.5%)粒 CG-102 5.5 粒 CG-102 6.5 粒 モリネートS 粒 モリネートSM 粒 モリネートK 粒 NH-703 粒	TH-62D ₂ 粒 TH-62DM-1粒 NC-310 粒		
	I-(5) 適 用 条 件 拡 大	B-3015S 粒	X-52B 粒 モリネートS 粒 KH-183A 粒 KH-159 粒 NH-6967S 粒 NH-703 粒 XK-721 粒 シメトリン 粒			

		実	実および継	継 続	継 続 ?	中 止
Ⅱ 稚 苗 移 植 栽 培	Ⅱ-(1) 土 混 壤 和 処 理		G-315B 乳 G-315 乳 G-315 水和 B-3015 乳	XK-724 粒		
	Ⅱ-(2) 移 土 植 壤 前 処 後 理	X-52 粒	MO-18 粒 MTS-1 粒 G-315 粒 ブタクロール 粒			
	Ⅱ-(3) 移 土 植 壤 後 処 理		TH-62M 粒 SST-1 粒 SST-5 粒 モリネートN 粒	HW-210 粒 SK-23 粒		
	Ⅱ-(4) 茎 葉 葉 土 壤 処 理		TH-62D 粒 X-52B 粒 NH-703 粒 モリネートS 粒 モリネートK 粒 B-3015K 粒 B-3015S 粒	モリネートSM 粒		
	Ⅱ-(5) 適 用 時 期 拡 大	B-3015S 粒	プロメトリン・MCPB 粒 シメトリン・MCPB(3.5%)粒 シメトリン・MCPB(2.5%)粒 トリフルラン・MCPAN 粒 ブタクロールS 粒 NH-6967S 粒 NH-703 粒 モリネートS 粒 NIP-Q 粒	X-52・B 粒		
Ⅲ 苗 代	Ⅲ-(1) 水 苗 代		B-3015 粒			
	Ⅲ-(2) 畑 苗 代	TOPE 乳				
Ⅳ 湛 水 直 播		HW-38C 粒	B-3015 粒 B-3015 乳 B-3015S 粒 BM-3015 粒 HW-40187C 乳 モリネート 粒 G-315 乳	モリネートK 粒 BAS-3510水和		

	実	実および継	継 続	継 続 ?	中 止
V 乾 田 直 播	トリフルラリン 乳	B-3015 乳 B-3015・プロメトリン 乳 B-3015+DCPA 乳 X-52 粒 モリネートS 粒 G-315 水和	X-52 水和 モリネートK 粒	リニュロン 粒 畑作用NIP 粒	
VI 畦 畔		DPA・DCMU・MCP 粒 YH-471H 水和			
VII 休 耕 田			デソレートA 水和 DCBN 粒 YH-471H 水和 MON-39 乳 DPA・DCMU・ MCP 粒		
VIII 圃 耕 起 前			CB-712 乳 SLT-711 水和 MON-39 乳		
K 一 年 生 ・ 多 年 生 雑 草 対 象		HE-314・BAS 粒 HE-314・SK-23・BAS 粒 TH-63 粒 B-3015・BAS 粒 B-3015S・BAS 粒 モリネート・BAS 粒 X-52・BAS 粒 XK-722 粒 MCP・BAS 粒 2,4-PA・BAS 粒 BAS-3510 粒 BAS-3510 水和 KH-159 粒 ブタクロール 粒 MCP・BAS 水和 2,4-PA・BAS 水和 SK-23 粒 モリネートS 粒	CNP・BAS 粒 KH-183A 粒 SST-5 粒 TH-64 粒 TH-65 粒		

〔 その他作用特性の解明 〕

I 移植栽培本田

*MS-8粒, *MK-129粒, USB-84粒, MO-18粒, MT-106粒, MT-208粒, MTS-1粒, *SKP粒, NC-70粒, S-64乳, S-04水和, NK-049S粒, CH-721粒, *CH-721S粒, KW-11粒, XT-73粒, X-52・モリネート・AM粒, Z-151粒, CG-102粒, T-173K粒, XK-721粒, XK-722粒, XK-723粒, XK-724粒, X-27, HW-35

粒, HW-93粒, モリネートSM粒, G-315・B乳, SST-5粒

II 稚苗移植栽培

MS-8粒, MK-129粒, MTS-1粒, SST-5粒, *HW-210粒, STS乳, *NTN-72K粒

III 多年生雑草対象

BAS・3510粒, HE-314・BAS粒, HE-314・SK-23・BAS粒, TH-63粒, X-52・BAS粒, X-52・AM・BAS粒, CNP・BAS粒, B-3015・BAS粒, B-3015S・BAS粒, モリネート・BAS粒, MCP・BAS粒, TH-64粒, TH-65粒, ACN, X-52・モリネート・AM, プタクロール5.0粒

IV その他変動要因試験を行ったもの

U-67粒, TH-62D粒, モリネートK粒, プタクロール2.5粒, HZ-14粒, シメトリン2.5粒, HW-38C粒, プロメトリン・MCPB粒, シメトリン・MCPB3.5粒, B-3015・S粒, KUE-2079A粒

*変動要因試験をも行ったもの

〔第1次適用性試験〕

MS-8粒, MK-129粒, SKP粒, MTS-1粒, NTN-72K粒, CH-721S粒, KW-11粒, モリネートN粒, モリネートS粒, XT-73粒, CG-102_{5.5}粒, CG-102_{6.5}粒, SST-5粒, NK-049粒, B-3015S粒, TH-62D-2粒, HW-210粒, NH-703粒, KH-183A粒, X-52・モリネート・AM粒

〔茎葉兼土壌処理剤〕

モリネートSM粒, B-3015S粒, CG-102粒, HW-38C粒, X-52・モリネート・AM粒, TH-62D₂粒, TH-62DM-1粒

＜第3表＞ 昭和47年度水稻作関係実用化除草剤使用基準一覧表

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
I-(1) 移植栽培本田土壌混和処理	G-315B乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~1)	⊕ 40	壤土~埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期(暖地早 期含む)	①混和時水深3~ 5cm ②混和深2~3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~1)	⊕ 50~66	砂壤土~埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	全域の普通 期(温暖地 東部の早期 含む)	①混和時の水深3 ~5cm ②混和深2~3cm
	X-52乳	土壌混和	植代直後 (-3~1)	⊕ 200 cc	壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地中部 以北の普通 期	①混和時の水深3 ~5cm ②混和深2~3cm
	X-52水和	土壌混和	植代直後 (-3~1)	⊕ 35	壤土~埴土 (3cm/日以下)	温暖地中部 以北の普通 期	①混和時水深3~ 5cm ②混和深2~3cm

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
I-(1) (つづき)	X K-7 2 4 粒	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	㊦400~500	砂 壤 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地以西 の普通期	①混和時の水深3 ~5 cm ②混和深2~3 cm
	B-3 0 1 5 乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	㊦ 80~100 cc	埴 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	全域の普通 期	①混和時の水深3 ~5 cm ②混和深2~3 cm
I-(2) 移植栽培 本田↓移植 前後処理	M O-1 8 粒	土 壤	-3~ノビエ 1 Lまで (+7頃)	㊦ 300	砂 壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	全域の普通 期	C N P-9%に準 ずる
	M T S-1 粒	土 壤	-3~-1 +2~+4 (ノビエ 1 Lまで)	㊦300~400	埴 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	
	B-3 0 1 5 粒	土 壤	田 植 前 後 〔ミズガヤ ツリ出芽 寸前〕	㊦400~500	砂 壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	寒冷地以西 早期 普 通 期	代播き後出芽のミ ズガヤツリを対象 とする。
	KH-18 3 A 粒	土 壤	-3~-1	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	
	X K-7 2 4 粒	土 壤	-3~ノビエ 1 Lまで (+7頃)	㊦300~400	埴 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	
	NK-0 4 9 S 粒	土 壤	-2~移植前 +2~+5 (ノビエ 1 Lまで)	㊦300~400	埴 土 ~ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	
	ブタクロール粒	土 壤	-3~+3	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	
I-(3) 移植栽培 本田↓移植 後土壌処 理	T H-6 2 M 粒	土 壤	+4~ノビエ 1.5 lまで (+10頃)	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 (3 cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	
	K W-1 0 粒	土 壤	+5~ノビエ 1.5 Lまで (+10頃)	㊦300~400	埴 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地中部 ~西部の普 通期	
	B M-3 0 1 5 粒	土 壤	+4~ノビエ 1.5 Lまで 〔+10頃〕 寒地では 〔+12頃〕	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	全域の早期 普 通 期	
	モリネートN粒	土 壤	+5~ノビエ 1.5 Lまで (+10頃)	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 (2 cm/日以下) 〔異議申請によ り変更〕	温暖地西部 以西の普通 期	
	A C N 粒	茎・土	ウリカワ 発生盛期	㊦300~400	砂 壤 土 ~ 埴 土 (3 cm/日以下)	暖地の早期 普 通 期	

	薬 剤 名	処理法	処理時期	使用量	適用土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(3) 移植栽培 本田→移植 後土壌処理 (つづき)	KH-159粒	土 壤	+4～ノビエ 1 L (+7頃)	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	一年生雑 草及びマツ バイ：寒冷 地以西早期 普 通 期	
			+4～ウリカ ワ発生始 (+7頃)	300～400	同 上	ウリカワ： 温暖地中部 以西の普通 期	
	ブタクロール粒	土 壤	+4～ノビエ 1.5 L (+10頃) 〔ミズガヤ〕 ツリ：萌 芽期～3 L ホタイル ：2 Lま で	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の早期 普通期 〔異議申請に より変更〕	
	S S T-1 粒	土 壤	+3～ノビエ 1 Lまで (+7頃)	Ⓢ300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地中部 以北の普通 期	
	S S T-5 粒	土 壤	+3～ノビエ 1 Lまで (+7頃)	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の早期 普 通 期	
	X K-7 2 1 粒	土 壤	+5～ノビエ 1 Lまで (+8頃)	Ⓢ300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地以西 の普通期	
	NH-6967M粒	土 壤	+5～ノビエ 2 Lまで (12頃)	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地中部 西部普通期	
	KH-183A 粒	土 壤	+3～ノビエ 1.5 L 〔10日頃〕 寒地：1 2日頃	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	
I-(4) 移植栽培 本田→茎葉兼 土壌処理	X-52B粒	土 壤	+5～ノビエ 2 Lまで 〔12日頃〕 寒地：1 5日頃	Ⓢ300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の早期 普 通 期	
	X-52・モリ ネット・AM粒	茎・土	+10～ノビ エ2.5 L (+15頃) 但し寒地、寒 冷地では +15～ノビ エ2.5 L (+20頃)	Ⓢ300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	全域の普通 期	

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
I-(4) 移 植 栽 培 本 田 ↓ 茎 葉 兼 土 壌 処 理 (つ づ き)	TH-62D粒	茎・土	+7〜ノビエ 2L (12日頃)	Ⓔ300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の早期 普 通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	B-3015K粒	茎・土	+8〜ノビエ 2L (12日頃)	Ⓔ300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	
	シメトリン・ MCPB(2.5%) 粒	茎・土	+5〜ノビエ 2L (12日頃)	Ⓔ300〜400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期 (暖地の早期含む)	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	シメトリン・ MCPB(3.5%) 粒	茎・土	+7〜ノビエ 2L (12日頃)	+7〜+10 300 +10以降 400	壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地、温 暖地の普通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
			ウリカワ： 発生始〜盛期 (+10〜 15日頃)	300〜400		寒冷地南部 〜温暖地中 部の普通期	
	CG-102 ^{5.5} 粒	茎・土	+7〜ノビエ 2L (12日頃)	Ⓔ300〜400	壤土〜埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	寒冷地以西 の普通期	シメトリンの使用 上の注意に準ずる
	CG-102 ^{6.5} 粒	茎・土	+7〜ノビエ 2.5L (15日頃)	Ⓔ300〜400	壤土〜埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	寒冷地、温 暖地の普通 期	シメトリンの使用 上の注意に準ずる
	モリネートS粒	茎・土	+7〜ノビエ 2.5L (15日頃) 但し寒冷地は +7〜2.0L まで (15日頃)	Ⓔ300〜400	砂壤土〜埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	全域の早期 普 通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	モリネートSM粒	茎・土	+10〜ノビ エ3.0Lまで (18日頃) 但し寒地は +15〜ノビ エ2.5L (20日頃)	Ⓔ300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期(温暖地 東部の早期 含む)	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	モリネートK粒	茎・土	+7〜ノビエ 2.5L (15日頃 寒地：20日 頃)	Ⓔ300〜400	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	全域の早期 普 通 期	
	NH-703粒	茎・土	+7〜ノビエ 2L (12日頃)	Ⓔ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期 (暖地の早 期含む)	
	MCC・M 粒 異議申請に より変更	茎・土	+7〜+15 ノビエ2〜3 Lまで	Ⓔ 300	砂壤土〜埴土 (2cm/日以下)	九州を除く 全 域	①殺虫剤との混用 はDCPAに準 ずる。 ②高温時の散布に ついて注意する

	薬 剤 名	処理法	処理時期	使用量	適用土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-(5) 移 植 栽 培 本 田 ー 適 用 時 期 拡 大	X-52B粒	土 壤	田植前後土壌 処理した場合 15～25日 〔ノビエ2〕 Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔 極 端 な 漏 水 田 〕 は 除 く	寒地・寒冷 地	
	B-3015S粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +15～25日 〔ノビエ2〕 5Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔 極 端 な 漏 水 田 〕 は 除 く	温暖地以北 の普通期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	モリネートS粒 〔異議申請に より変更〕	茎・土	田植前後の土 壌処理をした 場合 +25日まで 〔ノビエ2〕 5Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔 極 端 な 漏 水 田 〕 は 除 く	寒地地・温 暖地東部の 普 通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	KH-183A粒	土 壤	田植前後土壌 処理した場合 +15～20日 〔ノビエ1〕 5Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒地・寒冷 地	
	KH-159粒	土 壤	田植前後土壌 処理した場合 +10～15日 〔ノビエ1〕 0Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒地・寒冷 地	
	NH-6967S粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +15～25日 〔ノビエ2〕 Lまで	⊕ 300	埴 土 ～ 埴 土 〔 極 端 な 漏 水 田 〕 は 除 く	寒 冷 地	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	NH-703粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +15～25日 〔ノビエ2〕 0Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒冷地・温 暖地東部の 普 通 期	
	XK-721粒	土 壤	田植前後土壌 処理した場合 +10～+15 〔ノビエ1〕 Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日)	寒冷地・温 暖地東部普 通期	
	シメトリン粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 田植後25日 まで 〔ノビエ2〕 0Lまで	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔 極 端 な 漏 水 田 〕 は 除 く	寒地・寒冷 地	シメトリンの注意 事項厳守のこと

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-(1) 稚苗移植栽培 ― 土壌混和処理	G-315B乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	㊥ 40	砂壌土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期(暖地の 早期含む)	①混和時の水深3 ～5cm ②混和深2～3cm
	G-315乳	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	㊥ 50 cc	砂壌土～埴土 (2cm/日以下) 埴土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期 温暖地以西 の早期(九 州を除く)	①混和時の水深3 ～5cm ②混和深2～3cm
	G-315水和	土壌混和	植代直前直後 (-3~-1)	㊥ 50 cc	砂壌土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	①混和時の水深3 ～5cm ②混和深2～3cm
	B-3015乳	土壌混和	植代直前 (-3)	㊥ 80～120	砂壌土～埴土 (2cm/日)	寒冷地以西 の普通期	①混和時の水深3 ～5cm ②混和深2～3cm
Ⅱ-(2) 稚苗移植栽培 ― 移植前後土 壌処理	MO-18粒	土 壌	-3~-1 +3~+5 〔ノビエ1 Lまで〕	㊥ 300	埴土～埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	温暖地以北 の普通期	①苗が軟弱に育っ た時や低温時で の使用はさける ②深水での使用は さける
	MTS-1粒	土 壌	-3~-1 +3 〔ノビエ1 Lまで〕	㊥300～400	埴土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期	
	G-315粒	土 壌	植代直後～ 1	㊥300～400	埴土～埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	寒地・寒冷 地	
			+5～ノビエ 1L(+7頃)	㊥ 300	同 上	全域の普通 期(温暖地 東部の早期 含む)	
	ブタクロール粒	土 壌	-3～移植直 前 +3～ノビエ 1L(+8頃)	㊥300～400	砂壌土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	
	X-52粒	土 壌	-3~+3 +4ノビエ 1L(+8頃)	㊥ 300	砂壌土～埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	全域の早期 普 通 期	
Ⅱ-(3) 稚苗移植栽培 ― 移植後土 壌処理	TH-62M粒	土 壌	+3ノビエ 1.5L (10日頃)	㊥300～400	砂壌土～埴土 〔極端な漏水田 は除く〕	寒冷地以西 の普通期 (温暖地東 部の早期含 む)	極端な深水での使 用はさける ※
	SST-1粒	土 壌	+3～5 〔ノビエ1 Lまで〕	㊥ 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期(暖地は 除く)	極端な深水での使 用はさける
	SST-5粒	土 壌	+3～5 〔ノビエ1 Lまで〕	㊥ 300	埴土～埴土 (2cm/日以下)	全域の普通 期	極端な深水での使 用はさける

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
Ⅱ-(3) (つぎ)	モリネート N 粒	土 壌	+5～ノビエ 1.5 L (10日頃)	㊟300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期 (温暖地東 部の早期含 む)	
Ⅱ-(4) 稚 苗 移 植 栽 培 ― 茎 葉 兼 土 壌 処 理	TH-62D 粒	茎 ・ 土	+8～ノビエ 2.0 L 〔12日頃 寒地・寒 冷地北部 :15日 頃〕	㊟300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地東部 以北	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	X-52・B 粒	茎 ・ 土	+8～ノビエ 2.0 L (12日頃)	㊟300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日)	温暖地中部 以西普通期	
	NH-703 粒	茎 ・ 土	+9～ノビエ 2 L (12日頃)	㊟300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地西部 以西普通期	
	モリネート S 粒	茎 ・ 土	+8～ノビエ 2.5 L 〔15日頃 寒冷地北 部:18 日頃〕	㊟300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田 は除く〕	寒冷地・温 暖地の普通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	モリネート K 粒	茎 ・ 土	+7～ノビエ 2.5 L 〔15日頃 寒冷地北 部:18 日頃〕	㊟300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日)	寒冷地以西 の普通期 (温暖地東 部・中部の 早期含む)	
	B-3015K 粒	茎 ・ 土	+8～ノビエ 2 L (12日頃)	㊟300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温暖地中部 以西の普通 期	
	B-3015S 粒	茎 ・ 土	+8～ノビエ 2.5 L (15日頃) 寒地では+8 ～ノビエ2 L (+15頃)	㊟ 300	埴 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田 は除く〕	温暖地以北 の普通期 全域の早期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
Ⅱ-(5) 稚 苗 移 植 栽 適 用 時 期 拡 大	プロメトリン・ MCPB 粒	土 壌	田植前後土壌 処理した場合 +17～20 〔ノビエ1. 5 Lまで〕	㊟ 300	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	寒冷地北部	高温条件下での使 用をさける
	シメトリン・ MCPB _{3.5} 粒	茎 ・ 土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25 日 〔ノビエ2 Lまで〕	㊟ 300	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日)	寒冷地温暖 地東部	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
Ⅱ-(5) 稚 苗 移 植 栽 培 Ⅰ 適 用 時 期 拡 大 (つ づ き)	シメトリン・ MCPB _{2.5} 粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25日 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕ 300	壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	温暖地中部 西部の普通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと
	トリフルラリン MCPAN粒	土 壌	田植前後土壌 処理した場合 +15～25 〔ノビエ1〕 〔5Lまで〕	⊕ 300	壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒地・寒冷 地	
	ブタクロールS粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕ 300	壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒冷地北部	
	NH-6967S粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25日 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕ 300	壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田〕 〔は除く〕	寒冷地・温 暖地東部	
	NH-703粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕ 300	壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	温暖地東部	
	モリネートS粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +20～25 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕300～400	壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田〕 〔は除く〕	寒冷地・温 暖地普通期 (温暖地東 部の早期含 む)	
	B-3015S粒	茎・土	田植前後土壌 処理した場合 +15～25 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	⊕ 300	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田〕 〔は除く〕	全域の早期 普通期	
	N I P Q 粒	土 壌	田植前後土壌 処理した場合 +15～25 〔ノビエ1〕 〔Lまで〕	⊕ 300	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2cm/日以下)	寒 冷 地	
Ⅲ-(1) 苗 水 代 苗 Ⅰ 代	B-3015粒	土 壌	イネ1.5L以 上 ノビエ2L以 下	⊕300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土	温暖地中部 ～西部	
Ⅲ-(2) 苗 畑 代 苗 Ⅰ 代	T O P E 乳	土 壌	播種直後～出 芽期 〔ノビエ1〕 〔Lまで〕	⊕160～240	壤 土 ～ 埴 土	寒地・寒冷 地・温暖地	

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
Ⅳ 湛 水 直 播	B-3015粒	土 壌	播 種 前 - 3 ~ - 5	㊥ 300~400	洪 積 火 山 灰 壤 土 ~ 埴 土 (2cm/日以下)	温暖地以西 全 域	
			播種後15~ 20日 〔イネ1.5 L以上 ノビエ1 ~2L〕				
	B-3015乳	土 壌	- 5 ~ - 3 (播 種 前)	㊥ 60	洪 積 火 山 灰 壤 土 ~ 埴 土 (2cm/日以下)	温暖地以西 全 域	
			播種後15日 ~20日 〔イネ1.5 L以上 ノビエ1 ~2L〕				
	B-3015S粒	茎・土	播 種 後 +30~35日 〔イネ4L 以上 ノビエ2 Lまで〕	㊥ 300	壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	寒冷地・温 暖地 東部~中部	播種前後処理剤と の組み合わせで使用 する
	BM-3015粒	土 壌	播 種 後 +10~15 〔イネ1.5 L以上 ノビエ1 5Lまで〕	㊥ 300	壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	温暖地以西	
	HW-40187C 乳	土 壌	播 種 後 +8~ノビエ 1.5L (+10日頃)	㊥ 100 cc	壤 土 ~ 埴 土 (2cm/日以下)	暖 地	
	モリネット粒	茎・土	イネ出芽前後 ~1L 〔ノビエ1 5L〕	㊥ 300	砂 壤 土 ~ 埴 土 (2cm/日) 〔異議申請によ り変更〕	全 域	①イネ科優占稲場 を対象とする
Ⅴ 乾 田 直 播	G-315乳	土壌混和	播 種 前 - 4 ~ - 3	㊥ 33~50 cc	壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	温暖地西部 以西	
	HW-38C粒	茎・土	播種後15日 前後 〔ノビエ2 5Lまで〕	㊥ 300~400	壤 土 ~ 埴 土 〔極端な漏水田〕 は除く	寒冷地以西	有機リン剤との近 接散布はさける
	B-3015乳	土 壌	播 種 直 後 ~ノビエ1.5 Lまで	播種直後~ 出芽前 80~120cc 出芽揃後 ノビエ1.5L 100~150cc	砂 壤 土 ~ 埴 土	温暖地以西	

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
Ⅴ 乾 田 直 播 (つづき)	B-3015・ プロメトリン乳	土 壌	播種後～出 芽前まで 〔ノビエ1 Lまで〕	㊥ 60～80	壤 土 ～ 埴 土	寒冷地以西	
	B-3015+ DCPA乳	茎・土	播種後15日 前後 〔イネ1～ 2 L ノビエ1 ～3 L〕	(B-3015) ㊥ 80～57c + + 100 60 (DCPA)	壤 土 ～ 埴 土	温暖地以西	
	X-52粒	土 壌	入水後ノビエ 1 Lまで	㊥300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田 は除く〕	温暖地以西	漏水の安定した後 使用する
	モリネートS粒	茎・土	入水後～ノビ エ2 Lまで	㊥300～400	壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田 は除く〕	温暖地以西	漏水の安定した後 使用する
	G-315水和	土 壌	播種後～出芽 前	㊥ 12～16	壤 土 ～ 埴 土	温暖地以西	
	トリフルラリン乳	土 壌	播種後～出芽 前 〔ノビエ発 芽前〕	㊥ 30	壤 土 ～ 埴 土	温暖地以西	ノビエのみを対象 とする
Ⅵ 畦 畔 雑 草	DPA・DCMU・ MCP粒	土 壌	雑草発生前～ 発生始期	㊥500～800	全 土 壌	寒冷地以西	①ノリ面散布はさ ける ②稲体にかからぬ ようにする ③流入による薬害 の恐れをなくす
	YH-471H 水和	土 壌	雑草発生前～ 発生盛期	㊥100～150	全 土 壌	寒冷地以西	①ノリ面散布はさ ける ②稲体にかからぬ ようにする ③流入による薬害 の恐れをなくす
Ⅶ 一 年 生 ・ 多 年 生 雑 草 対 象	HE-314・ BAS粒	茎・土	+8～ノビエ 1.5 L (+10頃) 〔ホタルイ : 始～5 L ミズガヤ ツリ: 2 ～5 L ウリカワ : 発生前 期〕	㊥ 400	壤 土 ～ 埴 土 (1cm/日)	温暖地中・ 西部普通期	(一年生・多年生 雑草同時防除)成 苗
			〔ホタルイ : 発生始 ～5 L ウリカワ : 発生前 期〕	㊥ 400	同 上	寒地・寒冷 地	成苗(多年生雑草対 象)

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
Ⅶ 一 年 生 ・ 多 年 生 雑 草 対 象	HE-314・SK -23・BAS粒	茎・土	+10～ノビ エ1.5L 〔+12頃 寒地：+ 15頃〕 ホタルイ：始 ～5L ミズガヤツリ ：2～5L ウリカワ：発 生前	400	壤土～埴土 (1cm/日)	温暖地東部 以北の普通 期	成 苗
	TH-63粒	茎・土	+7～ノビエ 2.5L 〔+15頃 寒地：1 8頃〕 ホタルイ：始 ～5Lまで ウリカワ：4 ～5Lまで ミズガヤツリ ：4～6Lま で	⊕300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	全域の普通 期	シメトリンの使用 上の注意に準ずる 成 苗
	B-3015・ ・BAS粒	茎・土	+6～ノビエ 1.5L (+10頃) ミズガヤツリ 発生始～盛期	⊕300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地西部 以西普通期	成 苗
	B-3015S・ BAS粒	茎・土	+7～ノビエ 2.5L (+15頃) 寒地：+7～ ノビエ2Lま で (+15頃) 〔ウリカワ ホタルイ ミズガヤ ツリ：発 生盛～前 期〕	⊕300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm/日)	全域の普通 期	シメトリン混合剤 の使用上の注意厳 守のこと 成 苗
	モリネート・BAS 粒	茎・土	+7～ノビエ 2L (+12頃) 〔ホタルイ ミズガヤ ツリ：発 生盛～前 期〕	⊕300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	寒冷地以西 の普通期	成 苗
	X-52・BAS 粒	土 壌	+4～ノビエ 1L (+8頃) ウリカワ・ミ ズガヤツリ： 発生始～盛期	⊕300～400	砂壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	温暖地以西 普通 期	成 苗

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
Ⅶ 一 年 生 ・ 多 年 生 雑 草 対 象 (つ づ き)	X K - 7 2 2 粒	茎 ・ 土	+7～ノビエ 1.5 L (+10頃) ミズガヤツリ ウリカワ：発 生始～盛期	㊦300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	寒 冷 地 南 部 以 西 の 普 通 期	成 苗
	MCP・BAS 粒	茎 ・ 土	MCP処理期 に準ずる	㊦300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	温 暖 地 中 部 以 北 の 普 通 期	前処理剤との組み 合せて使用する 成 苗
	2,4-PA・BAS 粒	茎 ・ 土	2,4-PA処 理期に準ずる	㊦300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	温 暖 地 中 部 以 西 の 普 通 期	前処理剤との組み 合せて使用する 成 苗
	MCP・BAS 水和	茎 ・ 土	ミズガヤツリ ホタルイ・ウ リカワに対し MCPの使用 時期に準ずる	成分 4.5+3	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下) 〔 異議申請によ り変更 〕	温 暖 地 中 部 以 北	前処理剤との組合 せで使用する。
	2,4-PA・BAS 水和	茎 ・ 土	ミズガヤツリ ホタルイ・ウ リカワに対し 2,4-PAの 使用時期に準 ずる	成分 4.5+3	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下) 〔 異議申請によ り変更 〕	温 暖 地 中 部 以 西	前処理剤との組合 せで使用する
	BAS-3510 粒	茎 ・ 土	ホタルイ・ウ リカワ・ミズ ガヤツリ発生 盛～前期	㊦400～600	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	全 域 普 通 期	成 苗
	BAS-3510 水和	茎 ・ 土	ホタルイ・ウ リカワ・ミズ ガヤツリ発生 盛～前期	㊦ 80～120 g	砂 壤 土 ～ 埴 土 (1.5 cm/日以下)	全 域 普 通 期	成 苗
	K H - 1 5 9 粒	土 壌	+4～ウリカ ワ発生始 (+7頃)	㊦300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温 暖 地 中 部 以 西 の 普 通 期	
	ブタクロール粒	土 壌	ホタルイ発生 直前～1 L	㊦300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	寒 地 ・ 寒 冷 地 北 部	
	S K - 2 3 粒 〔 異議申請に より変更 〕	土 壌	ホタルイ：発 生前～1 L マツバイ：発 生前～発生期 (+3～+7)	㊦300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	寒 地 ・ 寒 冷 地	
	モリネート S 粒 〔 異議申請に より変更 〕	茎 ・ 土	ホタルイ：発 生始～3 Lま で (+7～+15)	㊦300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔 極端な漏水田 は除く 〕	寒 冷 地	①高温時の使用は 充分注意する ②健苗使用 ③広葉の多発地の 場合は早目に処 理する